

実施概要

- 日 時：平成28年6月11日（土） 15:00～17:00
- 場 所：ビッグパレットふくしま コンベンションホール
- テーマ：おいしい！楽しい！『食』で元気をチャージ

●コーディネーター ●パネリスト



西居 豊氏
(合同会社 五穀豊穰
代表プロデューサー)



柿沢 安耶氏
(野菜スイーツ専門店
「パティスリー ポタジエ」
オーナーパティシエール)



設楽 哲也氏
(特定非営利活動法人
OYAKODOふくしま理事)



藤本 智子氏
(ミソガール、ジャパン
味噌プレス編集長)



櫻庭 英悦食料産業局長
(農林水産省)

●主催：農林水産省

○司会： これより、シンポジウム「おいしい！たのしい！『食』で元気をチャージ」を開催いたします。早速、パネリストの皆様にご登壇いただきましょう。まずお一人目は、野菜スイーツ専門店「パティスリー ポタジエ」オーナーパティシエール、柿沢安耶様です。どうぞご登壇ください。柿沢様は、平成18年に、世界初の野菜スイーツの専門店「パティスリー ポタジエ」を東京に開店されました。旬の野菜を使ったヘルシーなスイーツが、女性を中心に大きな反響を呼び、スイーツ界における新しいムーブメントをつくったパティシエとして注目されています。今年4月に10周年を迎えられたことを契機に、全品低糖質ローカーボに切り替え、食べる方の健康について、より掘り下げ、世界一ヘルシーなケーキ屋を目指しています。また食育や農業へのご関心も高く、小学校での食育セミナー、生産地での野菜づくり体験ツアー、料理教室講師などでもご活躍されています。

続きまして、特定非営利活動法人OYAKODOふくしま理事であり、かつ福島県須賀川市で農業を営んでおられる設楽哲也様です。設楽様は、旅行会社、小学校勤務を経て、ご実家の農業に従事され、葱やキュウリ、米などを栽培されており、ご自身の作った野菜を使って、地元飲食店とコラボした農家ライブを開催されています。平成25年には、須賀川の農業青年クラブの会長としてもご活躍されました。また、子育て支援に関する事業を行っている、NPO法人OYAKODOふくしまの理事として、親子向け食農イベントなどを手がけられています。

続きまして、ミソガール、ジャパン味噌プレス編集長の藤本智子様です。藤本様は、アパレル販売員、ファッション雑貨店マネージャーを経る中で、ひどい肌荒れを経験され、本当に体に良いものを模索しているうちにみそと出会い、平成23年からミソガールの活動を始められました。みそに、だしと具材を混ぜて丸めて団子にした「みそまる」や、情報誌『ジャパン味噌プレス』を通じて、みその素晴らしさを伝えています。昨年のミラノ国際博覧会では、日本館サポーターに就任し、ご活躍されました。

続きまして、農林水産省食料産業局長の櫻庭英悦様です。櫻庭様は、昭和55年に農林水産省に入省され、大臣官房参事官、総合食料局食品産業振興課長、北海道農政事務所長、大臣官房情報評価課長、大臣官房審議官などを歴任され、平成26年7月より、現在の食料産業局長としてご活躍されています。平成7年から8年には、福島県庁に出向され、農林水産部農業経営指導課でご活躍されていました。また、農林水産省で初めて食育で事業を立ち上げるなど、食育には大変造詣が深い方です。食料産業局長として、昨年イタリアで開催されました、ミラノ万博の幹事省として尽力されるとともに、農林水産物の輸出、食文化の海外発信、地理的表示の推進などにも取り組まれています。

そして、本日のコーディネーターをお務めいただきます、合同会社「五穀豊穰」、代表プロデューサー、西居豊様です。西居様は、大学卒業後、東京のマーケティング会社に入社されたあと、平成21年8月に、農作物物流通コンサルティング会社、合同会社五穀豊穰を設立されました。そして、平成26年1月に和食給食応援団を設立さ

れ、現在、全国約50人の和食料理人とともに、学校給食の和食化に取り組んでおられます。平成27年度には、全国50地域を訪問し、42万食の和食給食を提供されました。また、平成24年には、「朝日新聞社『AERA』が選ぶ、日本を立て直す100人」に選出されました。そして昨年度には、和食給食応援団の事業が、グッドデザイン金賞を受賞するなど、ご活躍されています。それでは西居様、どうぞよろしくお願いいたします。

○西居豊氏： ご紹介ありがとうございます。五穀豊穡の西居と申します。今日は皆様のお話を聞かせていただきながら、皆さんと一緒に、食育のこれからについて、一緒に考えていければと思います。私のご紹介にあった通り、私はいま農業関係の仕事を、主に仕事としてやっているんですが、そのかわり、全国の小中学校にお伺いして、料理人さんとともに、食材を料理人さんに卸しているの、卸し先の料理人さんとともに小学校にお伺いして、和食をもっと食べてくださいねということをお話ししております。

また、最初独立してまだ7年目ですけども、7年前から農業を教えていただいたのは、福島県の南相馬市鹿島区のオノダさんという農家さんでして、お米の収穫から、苗づくりからですね、田植え・収穫・草取り全部、もう6〜7回ずつで年間お伺いさせていただいております。そんな中で、郡山でもう一度お話ができることを光栄に思います。今日はどうぞよろしくお願いいたします。では、早速進めていきたいと思うんですけども、今日のパネルディスカッションは、本年3月に作成されました、第3次食育推進基本計画における重点課題のうち、若い世代を中心とした食育の推進、食文化の継承に向けた食育の推進に焦点を当てまして、若い世代自身が取り組む食育や食文化の継承について、また行政側の有識者の意見をいただきながら、意見交換を進めていきたいと思います。

今日は、パネリスト私たち全員、非常に若いメンバーで進めていきたいと思います。この後の進行ですけども、皆様に10分ずつぐらい取組の紹介をしていただきまして、そのあと意見交換という形に進めさせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。まずは、柿沢様からお話をいただきたいと思うんですけど、素敵なお衣装ですね。

○柿沢安耶氏： ありがとうございます。自分でデザインしたんです。

○西居氏： かわいらしい。それ何が描かれているんですか。

○柿沢氏： これね、キュウリなんですけど、野菜が変えられるんですよ。中がトマトになっていたりとか。

○西居氏： いいですね。キュウリもトマトも福島県、産地ですよ、非常に。

○柿沢氏： 今日は作っている設楽さんがいらっしゃっているの、キュウリを。

○西居氏： それは行く産地ごとに野菜を変えるんですか。

○柿沢氏： やりたいところなんですけど、8種類しか今のところないんですけど。

○西居氏： 今日はいいチョイスですね。

○柿沢氏： ちょうどいいチョイスで来ました。

○西居氏： ありがとうございます。

○柿沢氏： はい。

○西居氏： じゃあ柿沢さんのほうから、何か資料をご準備いただいているんですよね。

○柿沢氏： そうですね、ちょっと写真を見ながら進めさせていただきたいと思います。自己紹介をかねて、いましている活動について、10分ほどお話しさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。私は、野菜スイーツの専門店ということで、一応世界初でお店をさせていただいております。お店なんですけれども、東京の